

静岡県の二地域居住推進の方向性 ～ 新しい暮らし方によるウェルビーイングの向上 ～

(別紙)

<目指す姿>

人口減少が進む中、二地域居住を積極的に推進し、新しい暮らし方によるウェルビーイングの向上に取り組む。

- 多様なライフスタイルの実現を通じて、地域を訪れる方の満足度を向上
- 地域を訪れる方との交流や、モノ・サービスの創出などを通じて、地域の満足度を向上

<推進の方向性>

- ・静岡県は、首都圏や中京圏等と近接し、都市と地方の両方の魅力を楽しむ二地域居住の適地である。
- ・県内市町の立地条件等を考慮し、「移住・定住型」や「二拠点型」など、地域の実情を踏まえた新しい暮らしを提案する。
- ・首都圏に近い東部、伊豆地域を「重点エリア」とし、地域のポテンシャル(豊かな自然環境、温泉資源など)を活かした取組を推進する。

(東部・伊豆地域を「重点エリア」とする考え方)

- ・首都圏から近く、都市部の二地域居住関心層へのアプローチがしやすい
- ・特に、伊豆地域は、温泉をはじめとした観光資源が豊富であり、二地域居住やワーケーションと好相性のポテンシャルがある

⇒ まず、賀茂地域を対象に、市町の枠を超えて
取り組む「広域連携モデル」を構築

